

〇〇さん、ハチに刺される！

佐渡

小野見川

高山

【日時】2009年9月20日（日）～21日（月）

【メンバー】L鈴木、S L佐藤(耕)、渡辺、坂井、高山

シルバーウィーク1日目の夜発のおかげで車はすいすい、天気予報は「明日は、日本中晴天」と告げている。船もほとんど揺れず、夢膨らむ&順調な佐渡上陸となった。

9/20 予定していた和木川遡行をカットすることにして、石名和木線の道路を利用して峠へ。どんよりとした空模様。さっきまでの陽射しは何処にいったのか？ 佐藤(耕)さんに「これが島の東と西で天気が変わるのが佐渡だ」と言われてもうなづけない。

ここからしばらくは登山道をいくのだが、林道に紛らわしい道が交差していたため、慎重に入口を確認する。それでも、地形図とは違う道に合流してしまい、歩き出しからよくわからなくなった。次には「雪畑・金剛登山口」なる標が出現する。雪畑？知らない名に佐藤(耕)さんが島の地形図や観光地図を広げるが見当たらない。それでも昇り調子が続く尾根道と、地面の古い市町村界標から現在地点を特定し、予定の1002mのピークへ辿り着いた。山頂には立派な三角点があって、名前は地形図に出ていないが、雪畑山が1002のピークだった。

時折雲間から両津港が見える、スカッと晴れたら東西の海岸線が臨める佐渡の景勝地に違いない。そんな想像に浸りながら、藪こぎに入った。当初は、北の道人山付近から小野見川へ下降する予定だったが、古い登山道はすぐ消えたので、長い藪を避けダイレクトに小野見川本流に下る北西の沢に針路をとった。



山頂直下の藪はさほどでもない。沢形をたどって3時間半ほどで本流との出合にでた。地図で白くなって見えるだけあって、出合い周辺は幕場適地だ。整地は不要で、トリカブトの紫が美しい場所にテントを張る。集めた薪はどれもカラカラで何をしなくても点く状態、このうえない極楽だ。この出合いの下に小野見川最後の堰堤があった。沢中1泊が2回の計画の気軽さか、酒・つまみの量ともに多く佐渡の夜は更けていくのでした。



9/21 4時過ぎに起床。快晴ではないものの、空が青いか白いかで鈴木さんと坂井さんとの意見があわない程度の、いい天気だ。6時20分には出発、それから10分後最初の高巻きで、事件は起こった。

高巻きのトラバースは、途中せり出した岩を抱きかかえるように進む。佐藤(耕)さんにロープを出してもらおう。アッセンダーを使っている、冷や汗だ。佐藤(耕)さん&渡辺さんの所に辿り着くも、狭く不安定でセルフをとっても全員待機は無理だ。押し出された渡辺さんが、補助ロープを引いて、坂井さんが来る前にと先に進む。

先も不安定な石がごろごろしていて、渡辺さんは不要な石を落としながらいく。6~7メートルも進んだらどうか、どこからともなく飛んできたハチを手で払いのける。いや、払ったがハチは渡辺さんの周りを離れない。「1匹、2匹?いやそこにも、そこにも」あれよあれよの内に、ハチの10数匹はいる。「渡辺さん、足元だ。逃げろ」佐藤(耕)さんが叫ぶ。ガラガラと崩れた足元にはハチばかり!そう、ハチの巣の上に立っていたのだ。「痛っ!痛っ!」何度刺そうが襲撃は止まない。激痛を堪えてとにかく渡辺さんは退散、そして私のすぐ隣の佐藤(耕)さんまで腹にずんとくる痛みを覚えた。



生でみる初めての光景に動けない。ハチは体長2センチほどあるものの、攻撃性は弱いのか、渡辺さんの姿とともに嘘のようにいなくなった。10分も経ってなかったと思うが、巣周辺はすっかり静まり返ったので、巣の1メートル位上部を慎重に行く。渡辺さんの次の待機場所は足場もよかったので、雨蓋からポイズンリムーバーを取り出す。渡辺さんは使い方がわからないと言うので、一緒にしまっていた取説を大声で読み上げ、吸引してもらった。そうこうして約1時間半かけてようやく沢床に下りた。

沢床では、再度渡辺さんと佐藤(耕)さんの吸引を再開した。時間が経っているが、4か所も刺さ

れた渡辺さんの具合が悪かったからだ。結局この後も行動を続け、大事には至らなかったが、この1件では反省すべきところがいっぱいあった。「リムーバーはすぐに取り出せるところにしまう」、「あらかじめ説明書を読んで試しておく」ということだ。私自身、講座で聴いて解った気だけでいただけだった。しかし、全員が刺されなくよかった。今回リムーバーは人数分なか





ったので、そんな事態になったら順番とか使い回しとか、難しいことになったと思う。

幸いなことにハチの襲撃はここでしまいだったが、その後は数え切れない程の高巻きに体力を摩耗させられることになった。下降から遡行と周遊を終え、再び雪畑山に辿り着いたのは2時過ぎ。到着予定をだいぶオーバーしていたので「本日の行動はこれまで」と代わる代わる三角点に立って、東西に海を望める佐渡の眺めを満喫するのでありました。



西(外海府側)に大野亀を、東(内海府側)に金剛山と両津港を望む

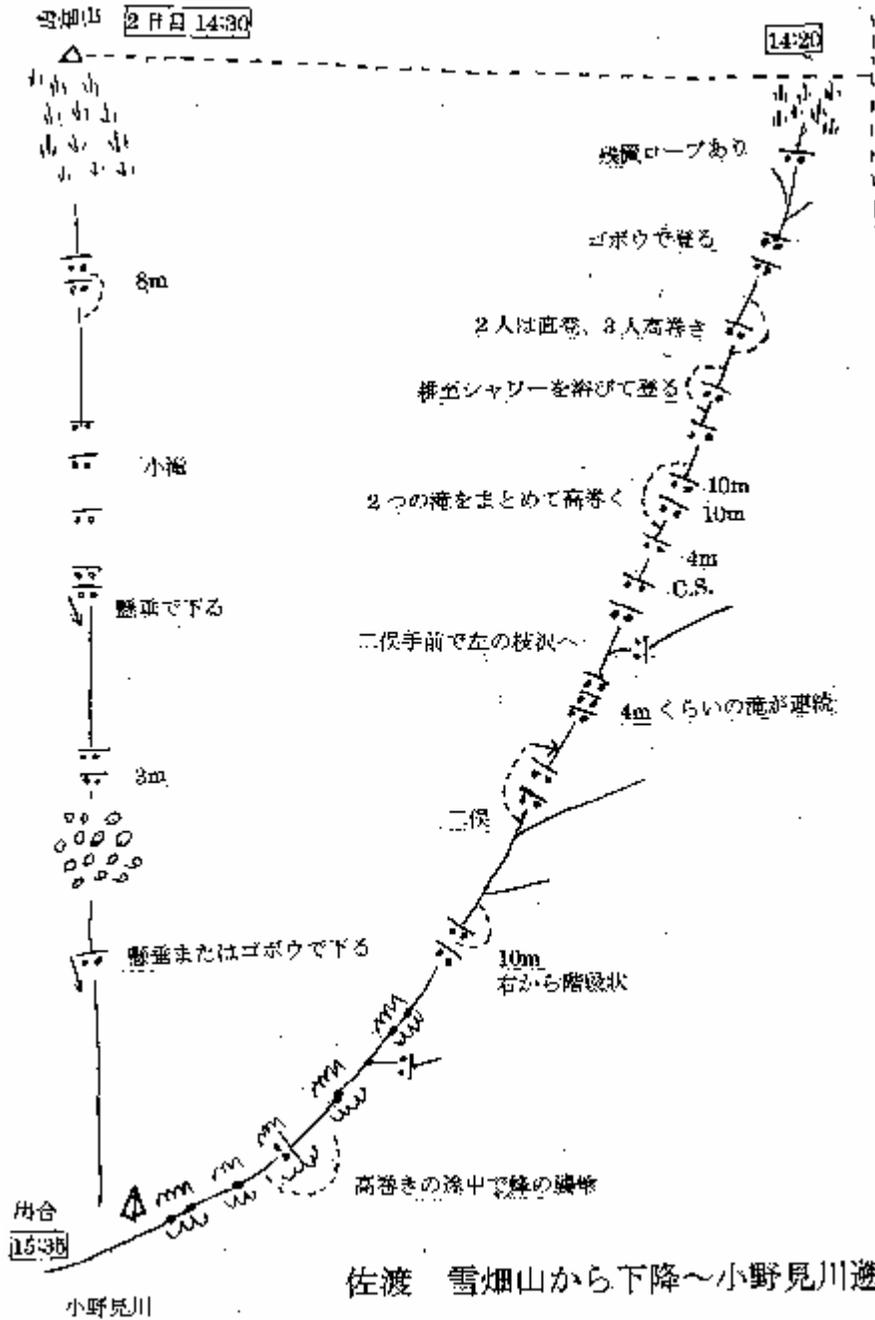
下山後、患部の具合と明日の予報が悪かったので、翌日は山の予定は佐渡観光に切り替えることになった。ちょっと残念だったけどそれが正解でした。刺された二人は当初胸に不快感があると言っていたのと、腫れがひどかったので念のため病院で診察を。無傷のはずの女子2人は、高巻きに腕力&脚力を使い果たし、歩く後ろ姿はまともではなかったから・・・

【行程】

9/20 登山口 (10:20) - 雪畑山 (12:00) - 小野見川本流 (15:30)

9/21 (6:20) - 二俣 (9:50) - 二俣 (10:50) - 雪畑山 (14:30) - 登山口 (15:30)

【地形図】小田



佐渡 雪畑山から下降～小野見川遡行

2009/9/20～21